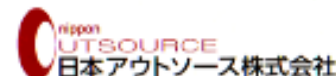


リスクモンスター株式会社

(東証JASDAQ上場 : 3768)

2016年3月期 第2四半期 決算補足資料



2015年11月12日

1. 2016年3月期 第2四半期 重点施策・取り組み (P.2)	21. 企業概要 (P.22)
2. 決算サマリー (P.3)	【補足】『リスモン調べ』のご紹介 (P.23)
3. 業績推移(四半期) (P.4)	【補足】リスモングループ本社移転について (P.24)
4. 連結セグメント別業績 (売上高) (P.5)	【補足】『中国企業与信管理システム』のご紹介 (P.25)
5. 連結セグメント別業績 (利益) (P.6)	【補足】『請求の助』スマートフォン対応のご紹介 (P.26)
6. 与信管理サービス等 業績 (P.7)	【補足】『e-管理ファイル おまかせ登録サービス』のご紹介 (P.27)
7. ビジネスポータルサイト 業績 (P.8)	【補足】『J-MOTTO ワークフロー』スマートフォン対応のご紹介 (P.28)
8. BPOサービス 業績 (P.9)	IRに関するお問合せ (P.29)
9. その他サービス 業績 (P.10)	
10. 会員数推移(四半期) (P.11)	
11. 連結貸借対照表 (P.12)	
12. RM財務格付による財務分析 ① (P.13)	
13. RM財務格付による財務分析 ② (P.14)	
14. 連結キャッシュ・フロー (P.15)	
15. 企業理念とビジョン(P.16)	
16. 『第4次中期経営計画(2014~2015年度)』全体的な基本方針 (P.17)	
17. 『第4次中期経営計画(2014~2015年度)』事業別の基本方針 (P.18)	
18. 2015年3月期 業績予想 (P.19)	
19. 株主のための施策 ① (P.20)	
20. 株主のための施策 ② (P.21)	

1Q

2Q

本社移転

自己株式の取得 (2015年5月21日～2015年6月30日)

取得対象株式の種類 : 当社普通株式
 取得した株式の総数 : 82,700株
 取得価額の総額 : 55,582,400円

2015年6月30日時点の自己株式保有状況

発行済株式総数(自己株式を除く) : 3,986,000株
 自己株式数 : 216,700株

e ラーニング『ビジネスハラスメント対策講座』他 リリース

リスモングループ各社 ホームページをリニューアル



e ラーニング『ビジネスコンプラ、キホンのキ』リリース

格付ロジック改定

「与信管理論(第2版)」出版



中国企業与信管理システム 提供を開始



監査等委員会設置会社へ移行

クラウド型請求書発送代行サービス『請求の助』 スマホ対応

e ラーニング『ITパスポート試験合格への道』リリース

『日中ものづくり商談会@上海2015』出展

自己株式の消却 (2015年9月30日)

消却する株式の種類 : 当社普通株式
 消却する株式の数 : 130,700株

2015年9月30日時点の自己株式保有状況

発行済株式総数(自己株式を除く) : 3,987,000株
 自己株式数 : 85,000株

『e-管理ファイル おまかせ登録サービス』リリース

『J-MOTTOワークフロー』 スマホ対応

リスモン調べ 随時 調査結果発表

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	増減額	前期比
売上高	1,346,699 千円	1,294,159 千円	△52,539 千円	96.1 %
営業利益	140,057 千円	138,165 千円	△1,892 千円	98.6 %
経常利益	150,064 千円	158,561 千円	8,497 千円	105.7 %
親会社株主に帰属する 四半期純利益	95,806 千円	94,859 千円	△947 千円	99.0 %
1株当たり四半期純利益	23.12 円	23.62 円	0.50 円	102.2 %
会員数	9,765 ID	10,200 ID	435 ID	104.5 %

◆売上高

与信管理サービス等及びビジネスポータルサイト(グループウェアサービス等)が堅調に推移したものの、BPOサービス等の大型案件が終了したこと等により前年同期を下回る。

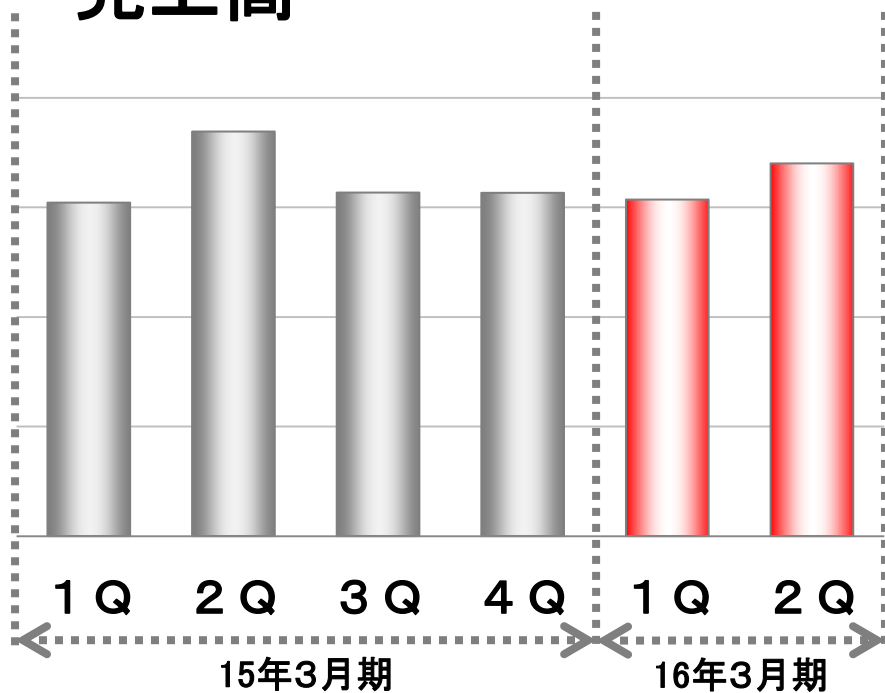
◆利益

2015年5月の本社移転に伴い、原状回復費用等の一時費用を17,688千円計上したものの、賃借料の負担が軽減されたことや、グループ機能の集約によって業務の効率化を図ることで固定費が削減し、第1四半期に計上した一時費用を第2四半期でほぼ吸収。

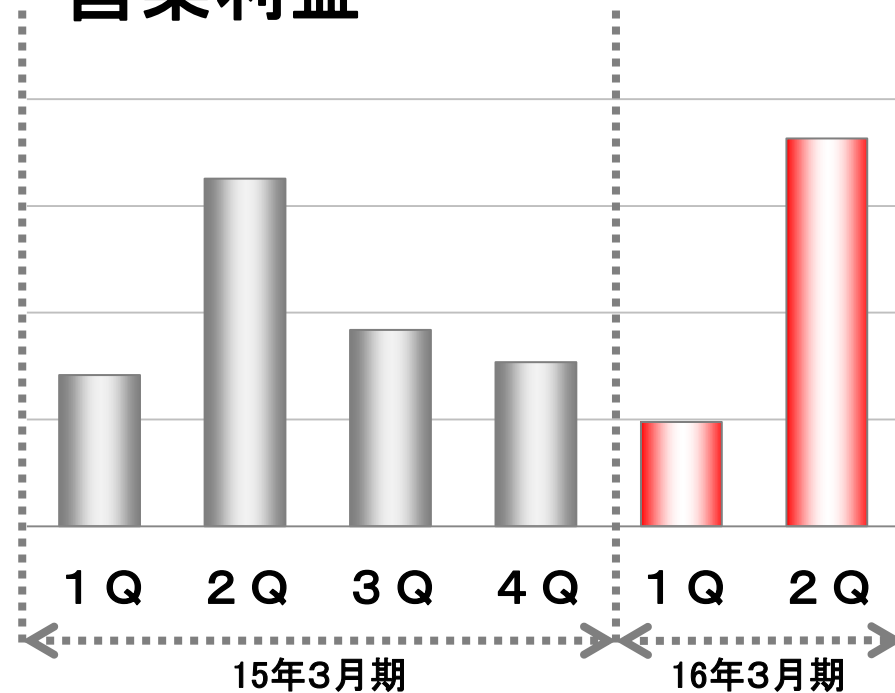
(単位：千円)

	2015年3月期				2016年3月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
売上高	608,493	738,205	626,851	626,339	614,080	680,078
営業利益	42,452	97,605	55,125	46,072	29,275	108,889

売上高



営業利益

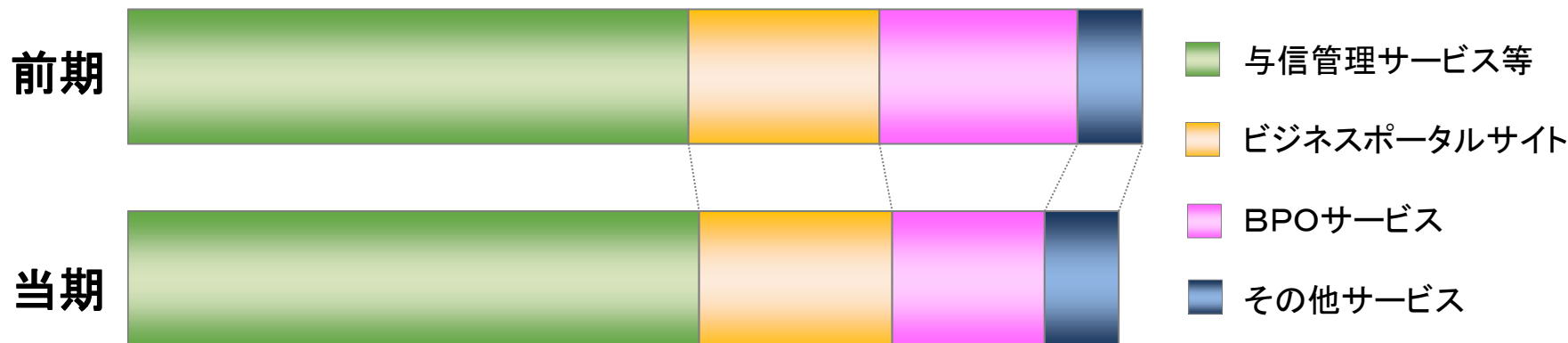


4.連結セグメント別業績（売上高）

（単位：千円）

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	増減額	前期比
与信管理サービス等	769,435	784,056	14,620	101.9%
ビジネスポータルサイト	262,138	265,045	2,907	101.1%
BPOサービス	271,810	209,197	△62,613	77.0%
その他サービス	89,256	101,717	12,461	114.0%
調整額（注）	△45,941	△65,856	△19,915	—
売上高 計	1,346,699	1,294,159	△52,539	96.1%

（注）調整額は、セグメント間取引消去であります。

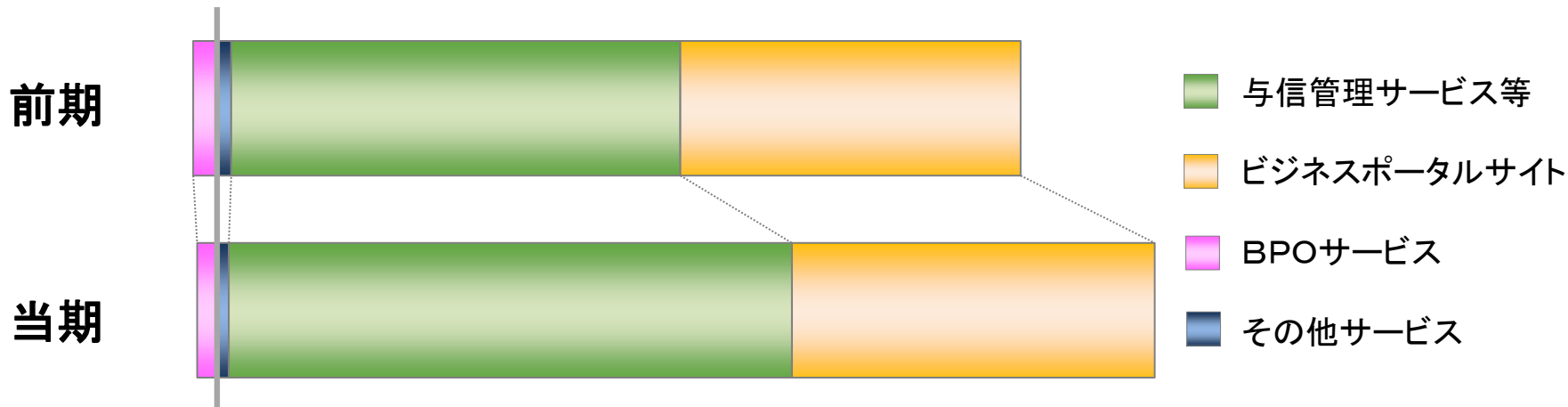


5.連結セグメント別業績（利益）

（単位：千円）

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	増減額	前期比
与信管理サービス等	83,412	104,590	21,178	125.4%
ビジネスポータルサイト	63,198	67,375	4,176	106.6%
BPOサービス	△4,433	△3,699	733	—
その他サービス	2,631	2,182	△448	82.9%
調整額（注）	△4,750	△32,282	△27,532	—
セグメント利益 計	140,057	138,165	△1,892	98.6%

（注） 2015年3月期第2四半期の調整額は、セグメント間取引消去であります。
2016年3月期第2四半期の調整額は、セグメント間取引消去及び報告セグメントに配分していない全社費用であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。



(単位 : 千円)

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス (注1)	646,564	651,492	4,928	100.8%
コンサルティングサービス (注2)	122,871	132,564	9,692	107.9%
売上高 計	769,435	784,056	14,620	101.9%
セグメント利益	83,412	104,590	21,178	125.4%
会員数 (ID) (注3) (内、提携会員数)	4,892 (1,760)	5,097 (1,933)	205 (173)	104.2% (109.8%)

(注1) 当社が独自に開発したシステム「RM2 Navi System」を利用して、企業信用情報提供会社の有する約260万社の企業情報の信用力を定量化し、インターネット経由で与信情報を提供するサービス

(注2) ポートフォリオサービス及び金融サービス等を含むその他サービス

(注3) インターネット等を介して与信管理サービスを利用できる会員及び提携先とのサービス相互連携を行う提携会員の合計

- ◆既存の取引先企業を管理するサービスの利用件数が低調だったものの、新規の取引先企業を分析する従量制サービス・定額制のシステム利用料が好調だったことに伴いASP・クラウドサービスの売上高は堅調に推移。
- ◆金融サービス等を含むその他の売上高が前年同期を下回ったものの、ポートフォリオサービスの受注単価及び件数がともに増加したことに伴い、コンサルティングサービスの売上高は前年同期を上回る。
- ◆売上高の増加と本社移転の効果によりセグメント利益が順調に推移。

(単位 : 千円)

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス (注1)	236,165	241,127	4,961	102.1%
その他 (注2)	25,972	23,918	△2,054	92.1%
売上高 計	262,138	265,045	2,907	101.1%
セグメント利益	63,198	67,375	4,176	106.6%
会員数 (ID) (注3)	3,221	3,147	△74	97.7%
ユーザー数	123,573	123,830	257	100.2%

(注1) インターネットを活用したグループウェアを中心として提供する中堅・中小企業向けビジネスポータルサイト「J-MOTTO(ジェイモット)」を利用できる会員向けサービス

(注2) ホスティングサービス等を含むその他サービス

(注3) 「J-MOTTO(ジェイモット)」を利用できる会員及びユーザー数

売上高が堅調に推移したことに加え、
データセンターの移転に伴い固定費が削減されセグメント利益も前年同期を上回る。

(単位 : 千円)

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	増減額	前期比
デジタルデータ化等 BPOサービス	271,810	209,197	△62,613	77.0%
売上高 計	271,810	209,197	△62,613	77.0%
セグメント利益	△4,433	△3,699	733	—

- ◆主力のデジタルデータ化等BPOサービスは回復基調にあるものの、前期に実施した大型案件が終了したこと等により売上高が前年同期に比べ減少。
- ◆粗利率の低い案件が終了したことや、採算管理の強化に着手し、利益率は改善。

(単位 : 千円)

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	増減額	前期比
「教育関連事業」等を含む その他サービス	89,256	101,717	12,461	114.0%
売上高 計	89,256	101,717	12,461	114.0%
セグメント利益	2,631	2,182	△448	82.9%
会員数(ID) (注)	1,652	1,956	304	118.4%

(注) 定額制の新社員研修サービス「サイバックスUniv.」と中国におけるグループウェアサービス等を利用できる会員の合計

- ◆定額制の社員研修サービス「サイバックスUniv.」の会員数が1,132会員と堅調。
- ◆利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)が運営する中国におけるグループウェアサービス等の会員数は824会員。

10. 会員数推移(四半期)

(単位 : ID)



	2010年				2011年				2012年				2013年				2014年				2015年	
	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月
与信管理 サービス等	2,985	2,895	2,947	3,488	3,812	4,006	4,191	4,400	4,508	4,571	4,700	4,720	4,744	4,770	4,822	4,820	4,897	4,892	4,947	5,055	5,090	5,097
ビジネス ポータルサイト	4,118	4,057	3,993	3,955	3,891	3,861	3,805	3,788	3,711	3,647	3,600	3,564	3,505	3,471	3,389	3,330	3,273	3,221	3,195	3,191	3,166	3,147
その他 サービス(注2)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	272	563	1,081	1,367	1,530	1,615	1,616	1,652	1,768	1,847	1,984	1,956
会員数 計	7,103	6,952	6,940	7,443	7,703	7,867	7,996	8,188	8,219	8,218	8,572	8,847	9,330	9,608	9,741	9,765	9,786	9,765	9,910	10,093	10,240	10,200

(注1) 上記は重複登録している会員が一部あります。

(注2) 定額制の新社員研修サービス「サイバックスUniv.」と中国におけるグループウェアサービス等を利用できる会員の合計

(単位：千円)

	2015年3月期	2016年3月期 第2四半期	増減額	前期比
流動資産	2,554,387	2,404,698	△149,689	94.1%
固定資産	2,287,706	2,332,784	45,077	102.0%
資産合計	4,842,094	4,737,482	△104,612	97.8%
流動負債	441,300	354,445	△86,855	80.3%
固定負債	549,211	534,640	△14,570	97.3%
負債合計	990,511	889,085	△101,426	89.8%
純資産	3,851,582	3,848,396	△3,185	99.9%
負債・純資産合計	4,842,094	4,737,482	△104,612	97.8%
自己資本比率	78.4%	80.2%	—	—
1株当たり純資産	933.20円	952.42円	19.22円	102.1%

自己資本比率は80.2%と高水準を維持。

リスクモンスターグループ の評価 (東証JASDAQ:3768)

【RM財務格付】
2016年3月期
第2四半期

I

【RM財務格付定義】

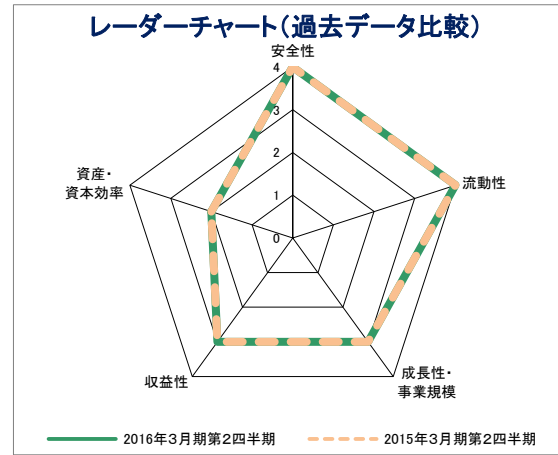
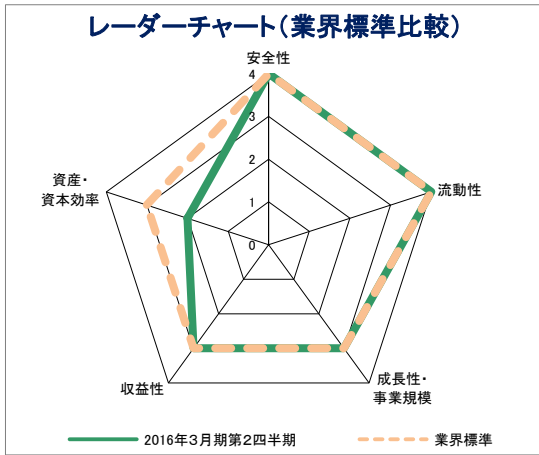
- I … 財務内容は良好です。
- II … 財務内容は概ね良好です。
- III … 財務内容にやや懸念があります。
- IV … 財務内容に大きな懸念があります。

【想定倒産確率】

- I … 0.1%
- II … 0.5%
- III … 1.0%
- IV … 3.0%

【RM財務格付履歴】

2016年3月期 第2四半期	2015年3月期	2014年3月期	2013年3月期
I	I	I	I
2012年3月期	2011年3月期	2010年3月期	2009年3月期
I	I	I	I
2008年3月期	2007年3月期	2006年3月期	2005年3月期
I	I	I	I



安全性	2016年3月期 第2四半期	★ ★ ★ ★
	2015年3月期 第2四半期	★ ★ ★ ★
自己資本比率		★ ★ ★ ★
実質自己資本比率		★ ★ ★ ★
借入金利率		★ ★ ★ ★
借入返済年数		★ ★ ★ ★

流動性	2016年3月期 第2四半期	★ ★ ★ ★
	2015年3月期 第2四半期	★ ★ ★ ★
流動比率		★ ★ ★ ★
当座比率		★ ★ ★ ★
現預金回転期間		★ ★ ★ ★
手形割引率		

収益性	2016年3月期 第2四半期	★ ★ ★
	2015年3月期 第2四半期	★ ★ ★
売上高経常利益率		★ ★ ★ ★
経常収支比率		★ ★ ★ ★
ROA(総資産利益率)		★ ★

成長性・ 事業規模	2016年3月期 第2四半期	★ ★ ★
	2015年3月期 第2四半期	★ ★ ★
売上高増減率		★ ★
売上高規模		★ ★ ★
経常利益増減率		★ ★ ★

資産・ 資本効率	2016年3月期 第2四半期	★ ★
	2015年3月期 第2四半期	★ ★
売掛債権回転期間		★ ★ ★
棚卸資産回転期間		★ ★ ★
総資産回転率		★

※ 実質自己資本比率とは、資産のうち不良性の恐れのある金額を自己資本から控除した上で算出した自己資本比率です。

※ ★★★★★(良い)～★(悪い)にて表示しています。
★が表示されない項目は、評価対象外です。
評価対象外となることで、コメントが表示されない場合があります。

※ ROAおよび総資産回転率は、それぞれ連結業績予想値で算出しています。

総合評価	財政状態は良好で、財務面においては高い信用力を有しているため、不安はありません。
安全性	資本調達力は安定しており、借入償還能力も高い状態であるため、安定性の高い資金繰りが見込まれます。
流動性	十分な当座資産を有しており、資金調達力も見込まれることから、高い決済能力を有しています。
収益性	利益効率が良好であり、事業による現金創出力を有しているため、相応の収益力を有しているといえます。
成長性・事業規模	一定水準の売上規模を有しており、収益力も向上しているため、相応の収益基盤を有しているといえます。
資産・資本効率	資産内容は概ね健全であるものの、資産効率が低水準にあるため、保有資産の稼働状態を確認することをお勧めします。

当社グループの2016年3月期中間連結決算におけるRM財務格付は、I～IVの4段階中、最高位の「I」となった。その分析内容に関する所見は、以下のとおりである。

【貸借対照表】

グループ連結の財政状態については、本社不動産取得のための借入金発生に伴い、自己資本比率は前年同期88.3%から8.1ポイント低下の80.2%となったが、依然として非常に高い安全性水準となっている。

流動性に関しては、連結決算で現預金残高1,823百万円を保有し、流動比率678.4%(前年同期比106.7ポイント低下)、当座比率652.0%(同123.0ポイント低下)と、本社不動産の取得に伴い現金を流出したことから、前年度に比し大幅な低下がみられるものの、水準としては引き続き十分な資金繰り余力を有している。

【損益計算書】

連結売上高においては、前年同期比96.1%の減収推移となり、売上高四半期純利益率では、7.1%(前年同期)から7.3%(当期)へ0.2ポイント向上した。

これは、与信管理サービス等及びビジネスポータルサイト(グループウェアサービス等)が堅調に推移した一方で、BPOサービス等の大型案件が終了したことによるものであるが、通期連結業績予想においては、現状で業績予想修正はなく、前期に引き続き安定的な推移が見込まれる。

通期連結業績予想値を用いて算出した、資産効率と収益性を示すROAが3.3%と平均的な水準にとどまっている点については、今般の本社不動産を取得が総資本回転率の押し上げにつながる見込みは高くないものの、固定費の削減効果による利益創出への寄与は見込まれることから、ROAの構成要素である売上高利益率の改善によって、今後ROAの上昇が期待されよう。

(単位：千円)

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	増減額
営業活動	102,062	109,558	7,496
投資活動	△103,637	△201,828	△98,190
財務活動	△111,011	△129,747	△18,736
現金に係る 換算差額	1,702	△845	△2,548
現金増減額	△110,884	△222,862	△111,978
現期首残金高	2,561,571	2,045,092	△516,479
現期末残金高	2,450,687	1,822,229	△628,458

◆営業活動

税金等調整前四半期純利益	155,503
減価償却費	137,968
売上債権の増加額	△44,978
法人税等の支払額	△69,120

◆投資活動

有形固定資産の取得による支出	△164,986
無形固定資産の取得による支出	△126,484
敷金の回収による収入	99,022

◆財務活動

配当金の支払額	△36,684
自己株式の取得による支出	△55,582
長期借入金の返済による支出	△30,080

リスクモンスター企業理念

顧客を大切にして共に繁栄しよう
プロフェッショナルリズムを繁栄の源泉にしよう

長期ビジョン(2011年～2015年)

1. ホワイトカラーの高齢化、空洞化への対応の中で、お客様が競争力を発揮できるようなサービスを提供し、頼られる企業を目指す。
2. 既存事業の収益を安定成長させながら、安定的な事業規模を目指す。
3. 海外事業、海外ネットワークを展開する。
4. 継続的な利益を確保すると同時に安定配当の基盤をつくる。

第3次中期経営計画(2011年～2013年度)

第3次中期経営計画(2011～2013)の成果と基本方針を継承・発展させるとともに、先行き不透明感に対応する。

従来の計画を1年短縮し、2ヶ年を計画期間とした

再チャレンジ「第4次中期経営計画(2014～2015年度)」策定

規模・株式市場

既存事業の安定的な成長に加えて国内外の事業投資を拡大しながら、二部上場基準規模を目指す。

財務 キャッシュ・フロー 方針

既存事業の安定成長基盤投資



営業キャッシュ・フロー内での運用。

事業ごとの配分



経営・事業環境を勘案し柔軟に配分。

新規事業投資



投資目標金額を設定し、積極的に投資する。

資本業務 提携方針

シナジー効果があり、プロフェッショナルなノウハウと顧客基盤を持つ企業を対象とし、長期的なビジネスパートナーとしての関係を築くことを目的とする。また、将来、継続的な利益が出るもの、目標としている内部収益率(IRR)が見込めるものとする。

配 当

配当性向20%以上を目安に安定的な配当を目指す。

	方針	狙い
与信管理 サービス事業 	BPO事業での業務請負運営ノウハウ及びASPシステムの管理運営ノウハウを総合	会社設立来標榜する「あなたの会社のe-審査部」(与信管理アウトソーシング事業)への足がかりとする
	収益性の安定成長を最優先課題とし、独自データベースの構築やソフトウェア投資水準の適正化により固定費を圧縮	限界利益率の向上を図る
ビジネスポータル 事業 	事業の核であるグループウェアは広く一般的に利用されているソフトウェア及びハードウェアとの連携を強化	安定成長を目指す
	ポータル事業としての深化と強化を実現	サービスの浸透度を深める
BPOサービス 事業 	業務請負サービスでのシナジーの追求	グループのシナジー効果
	国内外センターのそれぞれの役割を明確にし、グループ連携と採算管理を徹底	グループ全体のコスト削減に貢献
その他事業 	新規開発投資の再開及び事業の挺入れ	継続的に利益が出る事業基盤づくりに注力

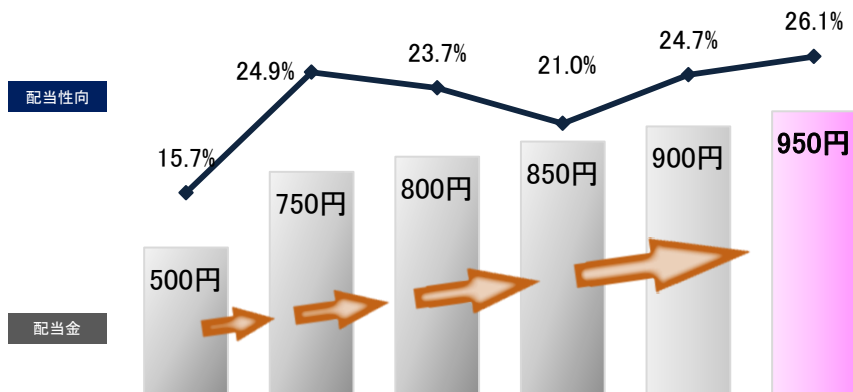
(単位：百万円)

	2016年3月期 第2四半期実績	2016年3月期 予想	差額	進捗率
売上高	1,294	2,700	1,405	47.9%
営業利益	138	270	131	51.2%
経常利益	158	280	121	56.6%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	94	140	45	67.8%
1株当たり当期(四半期)純利益	23.62円	35.11円	11.49円	67.3%

- ◆売上高は、当初の予定どおりに進捗。
- ◆利益は、2015年5月の本社移転に伴い、
賃借料の負担が軽減されたことや、グループ機能の集約によって
業務の効率化を図ったことに伴う固定費の削減効果が順調に推移。
- ◆現時点において通期の業績予想に変更なし。

配当金

- ◆ 2016年3月期は1単元当たり950円(1株当たり9.5円)の増配予想。
- ◆ 株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つとして位置付け、今後も継続的かつ安定的な配当の実施を目指す。
- ◆ 中長期的には配当性向20%以上を目標とする。



	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期
1単元当たり配当金	500円	750円	800円	850円	900円	950円
配当性向	15.7%	24.9%	23.7%	21.0%	24.7%	26.1%

(注) 1単元 = 100株

株主優待のご案内

毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された株主様のうち、**6ヶ月以上当社株式を保有されており、かつ、300株以上の当社株式を保有する株主様を対象**にお好きな商品または寄付を1点お選びいただく株主優待を実施いたします。

保有期間 所有単元数	6ヶ月以上 1年未満	1年以上 3年未満	3年以上
	当社指定商品		
300株		1,500円 相当	2,000円 相当
500株		2,000円 相当	3,000円 相当
1,000株		3,000円 相当	4,000円 相当

自己株式の取得

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため、2015年11月11日開催の取締役会にて追加の自己株式取得を決議いたしました。

- 取得対象株式の種類 : 当社普通株式
- 取得し得る株式の総数 : 50,000 株 (上限)
- 株式の取得価額の総額 : 30,000,000 円 (上限)
- 取得期間 : 2015年11月12日～2015年11月30日

2015年11月11日時点 自己株式の保有状況

- 発行済株式総数 (自己株式を除く) : 3,987,000 株
- 自己株式数 : 85,000 株

第15回 定時株主総会

2015年6月25日に第15回定時株主総会を開催し、昨年に引き続き、株主総会と事業説明会を実施いたしました。

今年は、より弊社に親しみを感じていただけるよう、株主通信で総会スタッフと日頃の担当業務を紹介させていただきました。

当日は、昨年よりさらに多くの株主様にご来場いただき、剰余金の配当、監査等委員会設置会社への移行とその関連議案、買収防衛策の継続議案についてご承認いただきました。



<株主総会の様子>

リスモンちゃんねる 配信

いつでもインターネットで閲覧
することができる

「リスモンちゃんねる」で当社の
IR動画を配信しております。



<リスモンちゃんねる 2015 夏 インタビューの様子>

(2015年9月末時点)

<p>商 号 リスクモンスター株式会社</p> <p>設 立 2000年9月</p> <p>代 表 者 代表取締役社長 藤本 太一</p> <p>資 本 金 1,155,993千円</p> <p>従 業 員 数 103名(連結) 72名(単体)</p> <p>株 主 株式会社東京商工リサーチ 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 株式会社日本M&Aセンター 藤本 太一 株式会社SBI証券 株式会社エヌアイデイ 株式会社オービックビジネスコンサルタント テクマトリックス株式会社 ほか</p>	<p>主 事 業 内 容 与信管理サービス等 ビジネスポータルサイト BPOサービス その他サービス(教育関連事業等)</p> <p>所 在 地 (本社) 東京都中央区日本橋2-16-5 RMGビル (大阪支社) 大阪市中央区今橋2-5-8 トレードピア淀屋橋8F (名古屋営業所) 名古屋市中村区名駅4-23-13 名古屋大同生命ビル12F (九州営業所) 福岡市博多区博多駅前4-4-15 博多駅前H44ビル4F</p> <p>連 結 子 会 社 リスモン・ビジネス・ポータル株式会社 リスモン・マッスル・データ株式会社 日本アウトソース株式会社 サイバックス株式会社 利墨(上海)商務信息咨询有限公司</p> <p>株 式 市 場 東京証券取引所 JASDAQスタンダード 証券コード 3768</p>
--	--



リスモン調べ 調査実績

第2回
『離婚したくなる
亭主の仕事』
調査結果発表

第3回
『世界に誇れる
日本企業』
調査結果発表

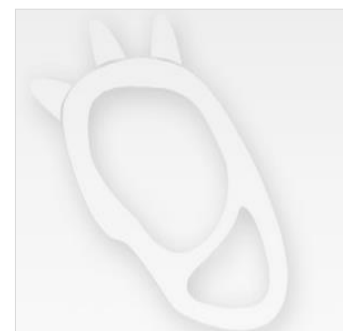
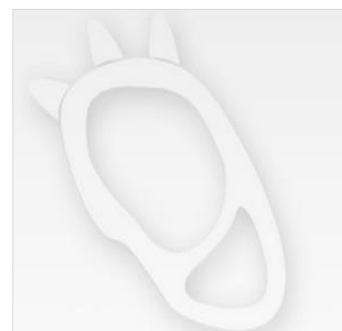
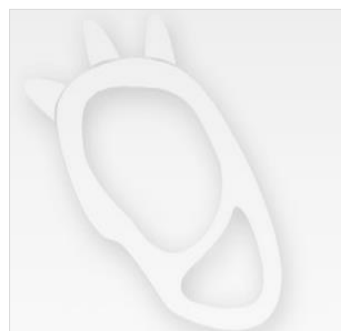
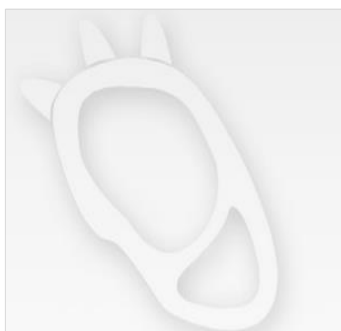
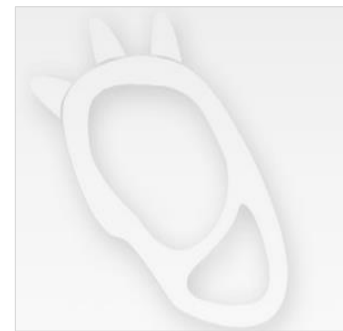
第3回
『独創性を感じる
日本企業』
調査結果発表

第3回
『格付ロジック改定による
RM格付変動の影響』
調査結果発表

第2回
『100年後も生き残れる
と思う日本企業』
調査結果発表

第3回
『金持ち
企業ランキング』
調査結果発表

第1回
『大学1、2年生が
就職したいと思う
企業・業種ランキング』
調査結果発表



リスモン調べとはリスモンが独自に調査するレポートです。
計7件の調査結果を発表しました。

■ リスモングループ本社移転

グループ全体の新たな拠点を伝統ある日本橋に移し、2015年5月7日(木)より営業を開始いたしました。これを機にグループ同一層業務に邁進してまいります。



本社外観



1階 エントランス



2階 エントランス



日本橋駅看板 (D1出口)

リスモンのコーポレートカラーであるグリーンを基調とした亀の甲羅にグループ各社を配置し日本橋の伝統を意識したデザインとなっております。



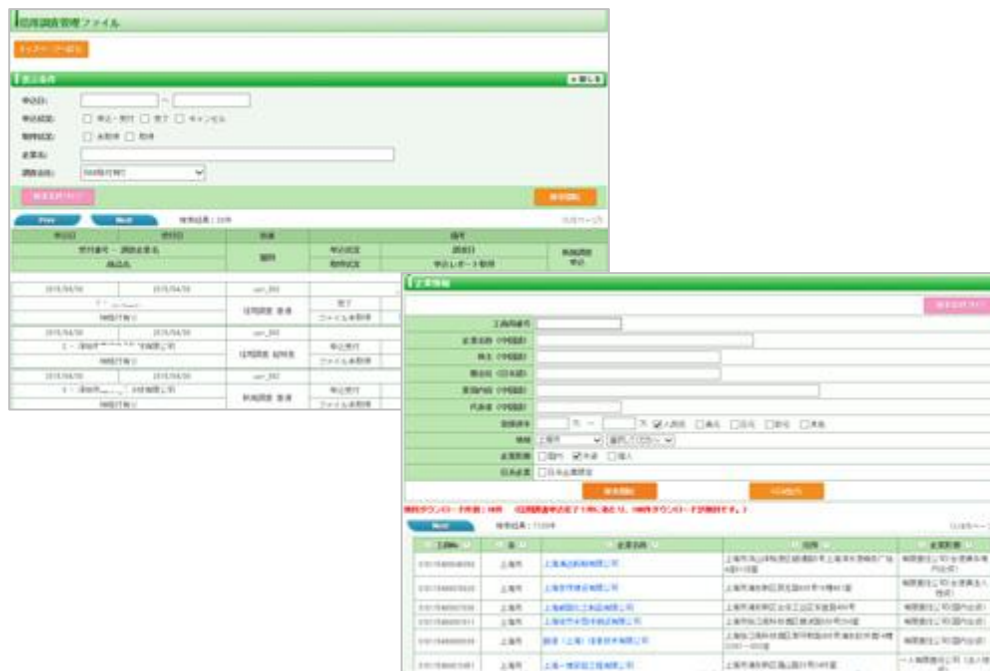
利墨(上海)商務信息諮詢有限公司

■ 中国企業与信管理システム

これまで中国においては、メールやFAXにて受発注を行う信用調査が主流でしたが、本サービスの提供により、Webを通じてのスピーディなお申込が可能になり、約1,000万社の中国企業に対し、倒産確率に基づいた6段階の「RM格付」を付与した中国企業信用調書の提供と、クラウドサービス上での調査企業の一元管理が可能となります。また上海・北京を中心とした約70万社の中国企業データベースを様々な条件での企業リストを作成するオプション機能を無料提供し、今後は調査企業の最新レポート通知など機能を充実させていく予定です。

■ 主な特徴

1. RM格付を付与した中国企業信用調書がWeb上でスピーディに申込可能。
2. 対象は中国にある約1,000万社以上の企業。
3. 信用調査管理ファイル機能を使い調査企業の一元管理が可能。
4. 上海・北京を中心とした約70万社の中国企業データベースから資本金や事業内容、日系企業有無などの抽出条件で企業リスト作成が可能。
5. 中国における利墨会員は基本料無料で利用可能。



リスクモンスター株式会社

■ 請求の助

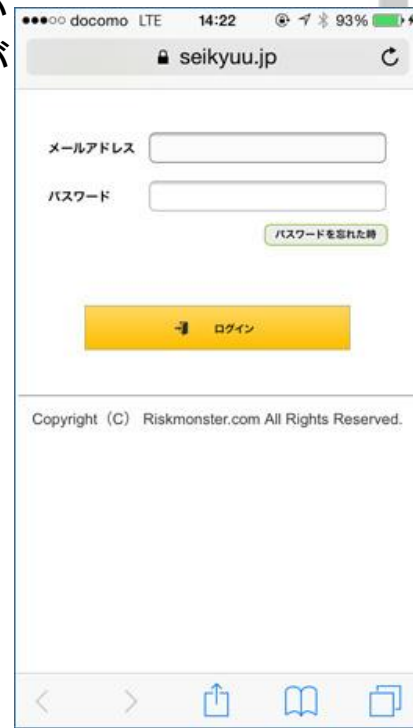
2013年1月よりサービスを提供しているクラウド型請求書発送代行サービス「請求の助」において、スマートフォン環境におけるサービス提供を開始いたしました。

■ 主な特徴

簡単なWeb操作で見積書、納品書、請求書などの帳票が作成でき、そのままFAX送信や郵送の手続きを行うことができるサービスです。

FAX送信や郵送は弊社が作業を行いますので、お客様はWeb手続きを行うのみで業務が完結します。

手間がかかるフォーマット管理や税金計算、印刷、郵送手配などが省力化でき、かつ、請求書1通から対応可能ですので、フリーランス、SOHO、小規模事業者から中小企業のお客様まで幅広くご利用いただいております。



< 画面イメージ >

リスクモンスター株式会社

■ e-管理ファイル おまかせ登録サービス

取引先のアラート検知ツールとしてリスモン会員企業に提供しております「e-管理ファイル」に、アラート検知が必要な取引先の条件を登録することで、自動的にモニタリング対象先の管理を行うことができる「e-管理ファイル おまかせ登録サービス」の提供を開始いたしました。

■ 主な特徴

1. 低格付先や大口の取引先など重点的にウォッチすべきリスクの高い取引先を選定し自動で管理。
2. 管理の自動化により与信管理業務の軽減と厳密な運用が実現可能。
3. ウォッチ対象の取引先を指定できるため決められた予算で運用を行うことが可能。

おまかせ登録設定

与信管理ルール設定へ移動

全体設定

小口ライン: 1,000 千円
大口ライン: 30,000 千円
自動モニタリング登録上限件数: 40 件 (現在のモニタリング件数: 40 件)
管理不能時にモニタリング解除する:
集中管理優先登録: 優先する
優先登録順の選択: RMリスク金額 本借限度超過額(貴社与信額-RM与信限度額) 貴社与信限度額 RM格付順

領域設定

	少額与信領域	重点営業領域	集中管理領域	政策営業領域	政策案件集中管理領域
自動メンテナンス対象にする	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> (推奨)	<input checked="" type="checkbox"/> (推奨)	<input checked="" type="checkbox"/> (推奨)
G格企業をモニタリング解除する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

登録

取引金額に応じて小口、大口ラインが設定できます。ウォッチ(モニタリング)対象となる上限件数を指定することができます。倒産、被合併などで「管理不能」になった場合には自動解除することができます。優先登録先として、RM格付順や与信限度額順などを設定することができます。リスクの領域を設定してメンテナンス対象を設定することができます。

自動メンテナンスで、ウォッチ対象として登録/解除された先はレポートで確認できます。

e-管理ファイルおまかせ登録レポート

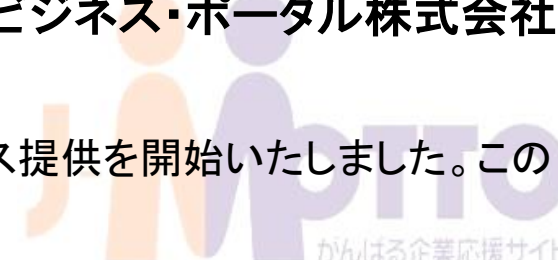
おまかせ登録レポート

対象日付: 2015/06/10 ~ 2015/06/10

実施日	取引先業種	モニタリング	TSRコード	業種	格付	領域	レポート内容
2015/06/10	登録	<input checked="" type="checkbox"/>	00000000	AAエンビロテック(株)	売買	FT	モニタリング登録 自動メンテナンス対象
2015/06/10	登録	<input checked="" type="checkbox"/>	00000000	即(グループ)システム(株)	売買	FT	モニタリング登録 自動メンテナンス対象
2015/06/10	登録	<input checked="" type="checkbox"/>	00000000	CS(株)	売買	FT	モニタリング登録 自動メンテナンス対象
2015/06/10	登録	<input checked="" type="checkbox"/>	00000000	CSシステム運用(株)	売買	FT	モニタリング登録 自動メンテナンス対象
2015/06/10	解除	<input type="checkbox"/>	00000000	旺渡通(株)	売買	D	モニタリング解除 自動メンテナンス対象外
2015/06/10	解除	<input type="checkbox"/>	00000000	IT流通サービス(株)	売買	D	モニタリング解除 自動メンテナンス対象外
2015/06/10	解除	<input type="checkbox"/>	00000000	CS(グループ)システム(株)	売買	B	モニタリング解除 自動メンテナンス対象外
2015/06/10	解除	<input type="checkbox"/>	00000000	沖電業(株)	売買	B	モニタリング解除 自動メンテナンス対象外

< おまかせ登録設定 画面イメージ >

< おまかせ登録レポート 画面イメージ >



■ J-MOTTOワークフロー

「J-MOTTOワークフロー」において、スマートフォン環境におけるサービス提供を開始いたしました。この対応によりスマートフォンから快適に操作することが可能になります。

■ スマートフォン対応機能

1. 処理待ち一覧
2. 申請書作成 ~ 承認
3. 申請書検索



< 処理待ち一覧 >



< 申請書作成 ~ 承認 >



< 申請書検索 >



<http://www.riskmonster.co.jp>

【IRに関するお問い合わせ】

TEL : 03-6214-0352 (IR専用ダイヤル)

FAX : 03-6214-0431

Mail : ir@riskmonster.co.jp



【グループ会社ホームページ】

リスモン・ビジネス・ポータル株式会社 <https://www.j-motto.co.jp>

リスモン・マッスル・データ株式会社 <http://www.outsource.co.jp>
日本アウトソース株式会社

サイバックス株式会社 <http://www.cybaxuniv.jp>

利墨(上海)商務信息咨询有限公司 <http://www.rismon.com.cn>



Human Upgrading Company

